

# CO<sub>2</sub>削減に効果あり 省エネ促進支援事業実績報告

太陽光発電（ソーラー）システムや木質バイオマスストーブ設置など町の省エネルギー促進支援事業の助成を利用されたかたから、これから設置を考えているかたに参考となるご意見がありましたのでご紹介いたします。

## 住宅用 太陽光発電システム

### 設置した感想は？

- ・冬の除雪が意外に大変だった。思ったほど雪が落ちなかった。
- ・パネルが高温になりすぎても発電量が落ちるので夏場の対策が必要
- ・夏場では多少曇りでも結構発電していた。

### 設置前と比較し年間電気代の変化は？

- ◆減少した 33人  
(1～2割程度：17人 3～4割程度：14人 5割以上：2人)
- ◆増加した 1人
- ◆変わらない 2人

### 設置により省エネルギー意識に変化は？

設置後、約9割のかたが省エネを意識するようになりました。

#### ◆省エネルギーを意識して行っている主な内容

- ・テレビやラジオの使用時間を減らす 20人
- ・家族で節電を心がける 20人
- ・部屋の冷暖房温度に気をつける 13人
- ・電化製品購入の際省エネタイプを選定 15人
- ・不要な電灯をこまめに消す 28人

#### 【事例1】

最大出力値	9.79kwh (自立タイプ)
設置費用総額	6,460,000円
年間発電量	9,090kwh
年間売電量	7,012kwh
購入電力量	設置前7,511kwh→設置後5,410kwh
29%エネルギー削減 ※	

#### 【事例2】

最大出力値	4.62kwh (屋根設置)
設置費用総額	3,300,000円
年間発電量	4,530kwh
年間売電量	3,208kwh
購入電力量	設置前4,375kwh→設置後3,867kwh
12%エネルギー削減 ※	

※ エネルギー削減率は、設置前購入電力量と設置後購入電力量との比較から算出しています。削減率が高いほど、発電に石油燃料を必要とする電力の消費が減っていることになります。

## 木質バイオマスストーブ

木質バイオマスストーブについては、ブリケットストーブ1件、ペレットストーブ2件の実績があり、設置者からは、「灯油などの化石燃料より暖かく感じる」「薪よりも、火力が向上した。石油ストーブよりも暖かい」といった感想がありました。



ペレットやブリケットなどの木質バイオマス燃料は、燃焼中にCO<sub>2</sub>を排出しますが、原料である樹木は成長過程でCO<sub>2</sub>を吸収しているため、トータルで見ると大気中のCO<sub>2</sub>を増やさない、環境にやさしい燃料です。



一般住宅に設置されたブリケットストーブ

省エネルギー促進支援事業の住宅用太陽光発電設置事業、木質バイオマス燃料ストーブ設置事業についても、助成期限は、平成25年3月となっています。

事業の詳しい内容については、総務課まちづくり推進係まで（電話32-2421）ご連絡ください。